

民具案内関連企画展

# むかしのくらし展

いまの私たちの暮らしにはスイッチひとつで動く便利な機械や、水道・ガスが当たり前のようがありますが、電気や水道・ガスといったものがまだなかった頃の暮らしはどのようなものだったのでしょうか。暗い夜のあかりは？寒い冬の日はどうしたのでしょうか。いまより手間や力がある仕事も多そうです。

本展では、明治から昭和にかけて使われた様々な暮らしの道具を展示します。人々が暮らしを便利に、豊かにするために使ってきた道具から暮らしの移り変わりを振り返ってみましょう。



展示風景（昨年度）

## ■ 民具案内とは

国立市内の公・私立小学校の3年生が、「くにたちの暮らしを記録する会」の指導のもと、民具を実際に使用しながらむかしのくらしを学ぶ体験型学習のこと。毎年1月から3月に、郷土文化館で行われています。



## ■ コーナー展示 しごとと場としごとと道具

生活を成り立たせるための仕事を生業といい、農村であったむかしの国立では、家や周囲の田んぼや畑、多摩川が生活の場であり仕事の場でもありました。現在の仕事観とも違いがありそうです。民具を通じてむかしの仕事現場をのぞいてみましょう。

箱めがねとヤス



かいまき



羽釜



たらいと  
洗たく板



黒電話



炭火アイロン

## 関連イベント

すべて参加無料！

### 展示解説

2月12日（月・祝）14:00～14:50  
3月3日（日）14:00～14:50

集合：くにたち郷土文化館 特別展示室入口  
定員：各回15名（先着順）

※申し込み不要。定員を超える場合は、小学生を優先します。



### ちくおんき 蓄音機でレコードを聞いてみよう！

3月2日（土）14:00～15:00

場所：くにたち郷土文化館 講堂

※申し込み不要。直接会場へお越しください。  
※SPレコードをお持ちの方はご持参ください。  
都合により再生できない場合もあります。



### ひな人形飾り

2月10日（土）～3月13日（水）  
※2月22日（木）は休館

桃の節句にあわせて、昭和初期の七段飾りのひな人形を展示します。

場所：くにたち郷土文化館・国立市古民家



### くにたち郷土文化館

〒186-0011 東京都国立市谷保 6231  
電話 042-576-0211

JR南武線「矢川」駅下車徒歩10分 / JR中央線「国立」駅からバス（「国立操車場」行または「国立泉団地」行）「くにたち郷土文化館」下車すぐ

